

ワーキング・タイトル

国際交流基金アジアセンター 上映企画・実践ワークショップ

募集要項

国際交流基金アジアセンターは、平成 29 年度より『ワーキング・タイトル 国際交流基金アジアセンター上映企画・実践ワークショップ』を開始することとなりました。以下の要項をご参照の上、ご応募ください。多数のご応募をお待ちしております。

I 事業概要

1. 目的

映画制作者を育成するプログラムは国内外問わず存在し、環境は比較的整っている一方、製作された映画を上映する専門家を育成する体制については、未だ整っているとは言えません。国内のみならず、海外の大学・映画専門学校においても、映画上映は理論の一部として教えられることが多く、実践的なプログラミングを学ぶ場は少ないと思われます。

『ワーキング・タイトル 国際交流基金アジアセンター上映企画・実践ワークショップ』(以下「本事業」とします)は、日本及び東南アジア地域において映画を広く一般に伝える上映専門家を支援することにより、以下の目的の達成を目指します。

- ・育成:より多様な上映環境の実現、さらには映画製作の環境の向上のため、日本と東南アジアにおいて有望な若手映画上映専門家を育成する。
- ・協働:日本と東南アジアにおける本育成事業への参加を通じた協業作業により、事例共有によるノウハウの獲得や、相互理解を促進する。
- ・ネットワーク:日本と東南アジアの次世代若手映画上映専門家間の継続的なネットワークを構築する。

2. 主催者

主催:国際交流基金アジアセンター

共催:国際交流基金バンコク日本文化センター、タイ・フィルムアーカイブ(予定)

3. 参加者

映画プログラマー、上映企画担当者。国ごとの参加者は以下のとおりです。

- (1) 日本:2名

- (2) タイ：2名
- (3) フィリピン：1名
- (4) インドネシア：1名

※詳細は3ページの「応募資格」欄をご参照ください。

4. スケジュールおよび会場（詳細は別添資料をご参照ください）

第1フェーズ（東京でのグループワーク）

2017年7月4～9日（6日間、移動日含む）

会場：国際交流基金事務所

第2フェーズ（東京での上映）

2017年9月2～4日または9～11日（3日間、移動日含む）

会場：国立新美術館

※グループごとに上記のいずれかの日程で実施

第3フェーズ（バンコクでの上映、シンポジウム、関係機関訪問）

2018年1～2月（6日間、移動日含む。調整中）

会場：調整中

各フェーズの間の期間も、参加者は上映プログラム作成作業を継続します。

※スケジュールは変更される可能性があります。

5. 内容

(1) グループワーク

参加者は、応募書類に記載された関心領域やテーマに応じて2つのグループに分かれます。各グループは、上映専門家（以下「アドバイザー」とします）の指導の下、上映プログラムを作成するとともに上映のための準備と実務をおこなうこととなります。2017年9月におこなわれる東京での上映会のためのプログラムは、『サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで』（国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター主催）のテーマからひとつを選んで作成します。また、2018年はじめに実施されるタイにおける上映会・シンポジウムのための準備も同時に開始します。

6日間のワークショップでは、日本と東南アジアを代表する映画専門家によるレクチャーや、関連機関の訪問がおこなわれます。また、アドバイザーによる指導の下で上映プログラムの構想を練るセッションも実施されます。

ワークショップ終了後、参加者は7月から8月にかけて引き続きプログラムの作成作業を続け、9月の『サンシャワー』展における上映に備えます。その際には、アドバイザーが継続して指導・助言にあたります。

(2) 東京における上映

2つのグループの上映プログラムは、『サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在

まで』の関連企画として9月に2日間上映されます（週に1日ずつ、2週間にわたって実施）。週ごとに1グループのプログラムが上映され、そのグループのメンバーは上映に立ち会うとともに、上映前後に実施されるディスカッションに参加します。

(3)タイにおける上映、シンポジウム

東京での上映会の後、参加者は2018年はじめに実施されるタイにおける上映会のためのプログラムを作成します。アドバイザーの指導のもと、本格的な企画・運営のための作業を2017年10月から開始します。参加者同士は電子メールやその他のオンラインツールを用いて連絡を取ることになります。

また、上映会の際には、参加者によって企画・運営されるシンポジウムを併催します。シンポジウムでは、ゲストスピーカーとともに、参加者自らも本事業の経験を発表します。

(4)タイにおけるスタディツアー

上映会、シンポジウムと同時に、タイの映画館やオルタナティブ・スペースなどへのスタディツアーを実施し、キュレーターやプログラミング担当者などへのインタビューをおこないます。詳細は採用者に別途通知します。

6. 言語

本事業は、原則として**英語で実施**されます。

II. 応募方法

1. 応募資格

応募者は以下の条件を満たしていることが必要です。

- (1) 日本あるいは東南アジア地域の国を拠点に活動する若手映画プログラマー、プログラム担当者、フェスティバルや上映施設の企画・運営担当者などの上映専門家。年齢45歳未満、経験15年未満程度を想定しています。
- (2) 3件以上の一般向け上映イベントあるいはプロジェクトをプログラミングした、あるいは開催した経験があること。単独でもチームとしてでも可。シニアのキュレーターのアシスタントとしての経験も可とします。
- (3) 今後も上映活動に継続して取り組む意思のあること。
- (4) 本事業の全日程に参加が可能であること。

2. 提出書類

※以下の様式は英語ですが、記入の際には英語、日本語のいずれの使用も可とします。

(1) *Entry Application Form (Form A)*

(2) *Program Proposal Form (Form B):*

以下のガイドラインに従い、『サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで』における上映プログラムの企画案を作成してください。

ア. 『サンシャワー』展のテーマからひとつを選び、そのテーマに沿って上映プログラムを作成してください。『サンシャワー』展のテーマは以下のとおりです。

- (ア) うつろう世界
- (イ) 情熱と革命
- (ウ) アーカイブ
- (エ) さまざまなアイデンティティー
- (オ) 日々の生活
- (カ) 発展とその影
- (キ) アートとは何か？なぜやるのか？
- (ク) 瞑想としてのメディア
- (ケ) 歴史との対話

それぞれのテーマの詳細については、同展のプレスリリースの4～7ページをご参照ください。プレスリリースは以下からダウンロードできます。

http://sunshower2017.jp/image/press_release_jp.pdf

イ. 上映プログラムに含むことができる作品の数は最大3本とします。

ウ. 上映作品は東南アジアまたは日本で製作されたもののみとします。

エ. 「Section 4: Description of the Project」欄の記入に当たっては、以下の条件を考慮に入れてください。

- ・上映プログラムは『サンシャワー』展の一環として、9月3日または10日に一度上映されます。
- ・観客は、以下の混合であると想定されます。(ア) 展覧会の来場者。相当数の観客は、上映会の前後に展覧会自体も鑑賞するものと予想され、その場合には展覧会の延長として上映を見られると思われれます。(イ) アジア映画の愛好者、(ウ) 上映作品が製作された国の文化に関心を持つ者。

オ. 会場は国立新美術館の講堂（座席数260）です。

カ. 上映会への入場には、展覧会の入場券の半券（当日のものでなくても可）が必要となります。

3. 応募締め切り

国際交流基金アジアセンター宛に応募書類を郵送してください。応募締め切りは2017年6月7日(水)(必着)です。

4. 選考

国際交流基金アジアセンターによる選考の後、採用者には電子メールにて2017年6月中旬にご連絡いたします。

5. 主催者の負担項目

タイへの往復航空賃(第3フェーズ)、宿泊費、国内旅費(必要な場合)、食事、旅行保険。関係機関訪問の際の入場料も主催者が負担します。本事業に直接関係のない費用は参加者負担とします。上映会開催に要する費用は主催者が負担します。

6. お問い合わせ

本件に関しご不明な点等ございましたら、以下にご連絡ください。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-16-3

国際交流基金アジアセンター 文化事業第1チーム

滝口 健

Email: Ken_Takiguchi@jpf.go.jp | Tel: 03-5369-6140 | Fax: 03-5369-6141

別添

ワーキング・タイトル

国際交流基金アジアセンター 映画上映企画・実践ワークショップ

スケジュール

2017年5月

募集要項発出

2017年6月

参加者選考

- ・6名（日本：2名、タイ：2名、インドネシア、フィリピン各1名）を選出する。
- ・企画のテーマ、内容に基づいて2つのグループに分ける。

2017年7月4～9日

第1フェーズ：グループワーク

- ・6日間（移動日含む）のワークショップを東京で開催。
- ・期間中、外部講師によるレクチャー、ワークショップ、関係機関訪問を実施する。
- ・映画上映専門家（アドバイザー）による指導・助言の元、グループごとに（1）2017年9月の日本における上映、（2）2018年1～2月のタイにおける上映、のそれぞれについてプログラム編成の準備を開始する。

2017年7～8月

日本における上映の準備作業

- ・各グループの参加者は、オンラインで連絡を取り合いつつ日本における上映の準備を継続する。
- ・アドバイザーは指導・助言を継続する。

2017年9月2～4日 / 9～11日

第2フェーズ：東京での上映

- ・2つのグループによるプログラムを『サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで』（国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター主催）において上映。9月3

日（日）、10日（日）にそれぞれ1グループのプログラムを上映。海外からの参加者はそれにあわせて訪日（3日間、移動日含む）。

2017年9~12月

タイにおける上映の準備作業

- ・各グループの参加者は、オンラインで連絡を取り合いつつタイにおける上映・シンポジウムの準備をおこなう。
- ・アドバイザーは指導・助言を継続する。

2018年1~2月

第3フェーズ：タイにおける上映・シンポジウム・スタディツアー

- ・2つのグループによるプログラムをタイ国内にて上映。
- ・参加者およびその他登壇者による総括シンポジウムを併催する。
- ・さらに、タイの映画館やオルタナティブ・スペースなどを訪問するスタディツアーを実施する。

*スケジュールは変更される場合があります。

以上